



協会ロゴ兼エンブレム
16年7月制定。協会員・加藤隆久氏の力作。「ボール・ラケット・汗」がモチーフ。中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボール追って流そう爽やかな汗」を訴える。「1973」は協会創立年。半世紀近い歴史。



顔の時代
愛ちゃん引退
福原愛・29歳。卓球歴26年。仙台出身。青森山田大で早大中退。15歳から五輪4度。ロンドン団体「銀」リオ「銅」。台湾選手と結婚、1女の母。引退。

74人が本人出席して開かれた2018年総会(12月2日・体育館会議室で)



運営・業務・会計が報告

討議・質疑熱心に
正午からの18年総会。稲垣会長が年間を総括。運営部、業務部、会計・監査がそれぞれ1年間の活動を報告し、熱心に討議。いずれも拍手で承認した。
その他の質疑では、大会開始時刻

70人親睦ダブルス
午前9時、記念大会の受付開始。第4代会長・今泉一(はじめ)相談役が郷里・長野県安曇野から大量の信州りんごを手土産に参加。
男女別に別れ、各面10人ほどのグループで、りんごを味わいながらダブルスの4ゲームマッチ。初コンビにも好連係やナイスカバーを見せていた。
約70人が正午まで親睦ダブルス。今泉元会長も元気なプレーを披露。正午から体育館に移動、午後1時までの総会のあと再びAコートに戻って自由にゲームを楽しんだ。

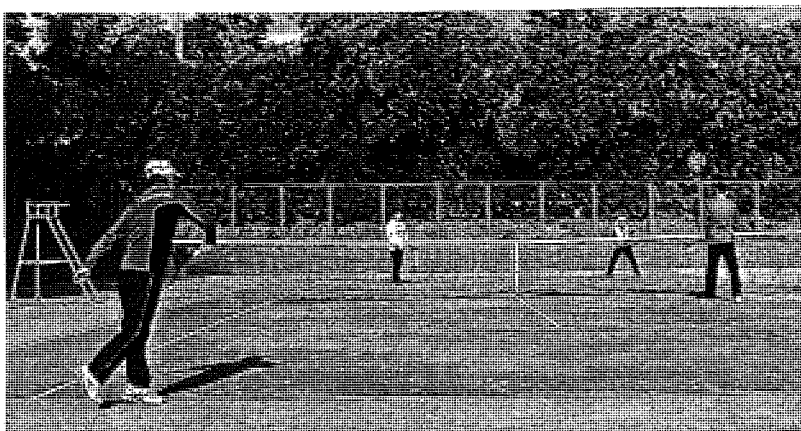
協会は12月2日(日)、平成最後・2018年の創立記念大会と総会を開催。午前9時から市民公園Aコートで会員親睦のダブルス。正午から体育館

会議室に移って総会。稲垣将樹会長が年間総括、運営部、業務部、会計・監査がそれぞれ活動を報告。次期会長選出では稲垣会長を再選した。

平成締める創立記念大会・総会

活動を総括し次期へ

最優秀・大坂／優秀・錦織
日本協会が
年間表彰
<3面>



親睦ダブルス。サーブを放つ今泉相談役(信州名物ご馳走さま)

寒い時季に大会

昭和48年(1973年)、瀬戸市内の軟式庭球愛好者が「毛の生えた球でやるまゝ」と緑町の瀬戸信グラウンドで硬い白いボールを打ち始め、「硬式庭球協会」を名乗ったのが年末12月。規約、役員を決め、大会や教室を開催。市体協加盟を申請したが、不受理。「軟式協会」傘下で活動。軟式との違いを訴え続け、独立して加盟実現は76年4月。稲垣会長で6代目。

の徹底(要項の点検)、イレギュラー多発などコートの傷みの補修、大会結果の迅速なHPアップ、「超還暦部門」の大会新設または分離開催、女子2部決勝の2部昇格と3年間戻り不可ルールの再検討」を望む声などが上がり、2月の理事会の検討課題とした。
【総会の詳報・2面に】

各部の報告を承認

「年配部門」「女子2部」振興など課題

総会は正午開会。加藤徳太郎議長を選出。委任含め189人出席で成立を確認。昼食を摂りながら議事。会長の年間総括に続き、運営部、業務部、会計が活動報告。いずれも拍手で承認した。その他質疑の後、恒例の「福引き」で大いに沸き、午後1時に閉会。



運営部・業務部・会計の年間報告を聞く総会参加者

稲垣会長の年間総括(要旨)

「高木会長を継いで1年目、無事終了。協会の協力に感謝。日本テニス界は大坂、錦織らの活躍に沸いた。協会は新たに大会用スコアボードを購入、円滑な試合運営を図った。また、ホームページを一新(担当Ⅱ石川)、連絡のほか、会報も掲載している。これに伴い、会報手渡し配布に加えて、「郵送不要」を募り、省力と経費節減を図る。「水掃き用ローラー」購入を検討してい

会計 会員増えて2667人

経費節減も寄与、健全財政キープ

石川均会計報告。会員数は前年同期比16人増の2667人。主な収入は会費+入金会金Ⅱ約85万円、

業務 会報6号発行

練習会は28回確保

鈴木愛高部長報告。会報制作・発送担当Ⅱ三浦 近藤、練習会コート確保(鈴木・近藤)、市行事への協力など担務。会報は4月号(No129)〜12月号(総会後発行・No134)の年間6号発行。練習会は月々4回、計28回確保。参加者は12〜15人程度。9月に20人超が2回、南が丘コートでの「審判講習会(年2回)参加少数。4面あり、多数」参加下さい。

るが、ソフトテニス協会と(費用負担など)相談の予定」

運営 春季・秋季 来季も 運8時30分に開始

磯村和信部長報告。年間9大会・3教室を開催。9大会のうち「団体戦(5月)と100歳祝(9月)を雨で順延としたほかは予定通り実施。ゲーム中、「ポスト」一体型スコアボード」に打球が触れた場合は単複とも「失点とする(常設物)」。出場ペア総数が100組前後と増え、今季30分繰り上げて8時30分開始とした春季大会と秋季大会は、来季も同様の開始時刻とする。出場資格中「学生は不可」の「学生」の定義は難題。2月の理事会で検討し具体的な範囲を定めた。今季のセルフジャッジに関するルール改正2点のうち、「ネット、スル、タッチ、ノットアップ、フアウルショットについて両選手(チーム)がコールできる」は適用する。

大会出場料約33万円、教室開催収入約3万円、体協助成+瀬戸市助成Ⅱ約20万円の計約195万円。教室収入は減少。主な支出は大会経費(賞品代+ボール代)約48万円、総会等会議費(昼食代)約10万円、教室運営費約11万円、練習会費約10万円、会報等通信費約20万円、体協等分担金8万円、スコアボード費12万円、計約175万円。練習会コート代、会報郵送費(Ⅱ切手代)が減った。前期繰越金約44万円、今期残り約20万円、次期繰越金(予備費)は約64万円となる。

経費節減策の効果もあり、臨時出費にも十分耐えうる健全財政を保っている。19年度予算計画も示され会員数2660人を想定。収支総額234万円規模。予備費は約45万円を見込んでいる。

久米会計監査の報告

久米孝幸会計監査役は「会計報告の通り相違なし」と監査結果を報告した。

要望など理事会付議

総会で提起された要望などは2月の理事会で討議する。大会要項のチック体制。要項中「学生不可」の「学生」とは? 「超選層部門」(仮称)大会の新設? 分離? 女子2部の活性化策Ⅱ「決勝(ペア1部)3年縛り」見直すか? 大会結果、迅速な日報アップ方法は? コートの傷み箇所、修繕可能? 「水掃きローラー」購入の件



1等のラケットをゲットした加茂さん

ラケット! 加茂さん破顔

総会の最後を飾る「お楽しみ福引き」。加藤スポーツ提供。例年通り、1等は張り上がりラケット。「今泉りんご」も賞品に。お茶とドカ弁(用2個目の弁当のほかに「ジャツ、ポーチ」などスポーツグッズも色々。約70人に50個を超す賞品。抽選箱から当選者名が呼び上げられるたびに歓声と嘆声。2等・バツグの当選者が決まり、いよいよ1等。賞品運び係の加茂さんがこれです。と、張り上がりのスリクソンを高く掲げて示す。さあ誰だ? 息を呑む議場。静寂。呼ばれた名は何と、「加茂さん!」「ええ、つ、ソ」の声。最も驚いたのは本人。白にピンクのレイイカラー。2800g台の「おニー」を手に、にっこり。

今後の日程

★理事会 & 理事親睦大会

2月10日(日)、理事会は午前11時から午後1時まで体育館会議室で、理事親睦大会は午後1時から5時までAコートで。往復はがきで通知。予備日なし。雨天時は理事会のみ開きます。

★春季テニス教室

3月3日、10日、17日の日曜3回。市民公園Aで午前9時から午後1時まで。市内在住者・在勤者または協会員対象。先着60人募集。参加費=1人4,500円。受付=2月1日~27日。予備日=3月24日(日)。2月1日付け広報掲載。

★第34回 瀬戸地方高校生大会

3月21日(木)・22日(金)の両日、市民公園A・Bで午前7時から午後5時まで。瀬戸市近郊高校生の男女別団体戦(単2・複1)。参加費=1チーム4,000円。予備日=3月23日(土)。学校関係者に直接案内。

<2018年度全日程終了>

名残惜しくラスト練習会

市民公園Aでの練習会が終わった。4月スタート、月々4回。10月20日が最終回。参加者は毎回15人弱。ナイター照明閉鎖に合わせ、やむなく練習会も10月で終了。来年4月に再開。



今季28回目・ラスト練習会。参加6人と寂しかったが、ゲームに練習に、午後9時まで汗を流して散会



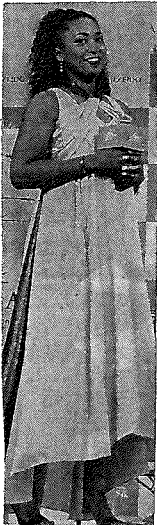
初シビ 錦織 大坂組。完敗にも大歓声

「錦織・大坂組」息合わず

名古屋で「ドリームテニス」

東日本震災復興支援「ドリームテニス」は東京・有明改修中で名古屋開催。11月25日、南区・ガイシプラザに観客7000人。錦織、体調を戻した大坂のほか奈良、鄭現子、ヨシ・ヒョン(韓国)、ダニエル、内田海智、松岡修造、マイケル・チャンらが参加。

「0-4」にも歓声と爆笑
「チャレンジなし。拍手の大小で決定」。単の錦織-鄭は5-5からのタイブレーは7-4で鄭。女子の大坂-奈良は6-1で奈良。男復の松岡-内田組-錦織・チャン組の妙な一戦にも沸いた。メインの錦織・大坂-鄭奈良は錦織組の息が合わず、「お見合い」や「遊び過ぎ」で0-4の完敗。急遽追加のタイプレ決着。最後、錦織のアンダーサーブを



奈良がリターンミスして錦織組の勝ち。エア・ケイ、股抜きや大坂のノータッチミスに大歓声。逆に、ハイタッチに来た錦織を無視したり、チェンジに戸惑う大坂に爆笑。ツアーでの「錦織・大坂組」の可能性の問いに、錦織は「面白いかも」、大坂は「練習しないと」と答えていた。

クイズ3Q

- Q1: 今年総会時、協会の会員数は何人?
- Q2: 2018年レディース、各優勝ペアは?
- Q3: ATP(男子)、WTA(女子)のファイナル単覇者は誰?

加藤 隆久 中垣 孝行 若谷 厚志 田中 整



12月9日 瀬戸駅伝 7度目挑戦

12月9日「第67回瀬戸近郊駅伝」男子2部に協会チームが7度目出場する。参加料助成に感謝。ゼッケン241の胸と背に「瀬戸市テニス協会」のPRロゴを付け笑顔で完走を誓う。出場67チーム。協会最高は昨年の53分57秒。今年もスタート位置は最後尾64。押されて転倒の心配なし。記録更新を狙う。中垣故障、最短の2区へ1区・加藤、2区・中垣、3区・若谷、アンカー・田中の予定。足故障の中垣を最長3区から最短の2区へ回す。最悪、中垣欠場の場合は2区・近藤(補欠となり、こ

「足ニス」の底力を見せてやる!

協会チーム「笑顔で力走」誓う

めん、好記録は絶望的。協会走路員担当の「ひかり保育園」通過時刻は、1区・加藤110時14分、4区・田中111時02分。大声援を願う。(監督・近藤)

胸・背に「PRロゴ」

昨年53分57秒の新記録

1区(3.4km)	加藤隆久	13分29秒
2区(1.8km)	田中 整	7分22秒
3区(4.6km)	中垣孝行	18分31秒
4区(3.6km)	大脇敬治	14分35秒
13.4km (61チーム中20着)		

各7秒縮めれば53分前半だ



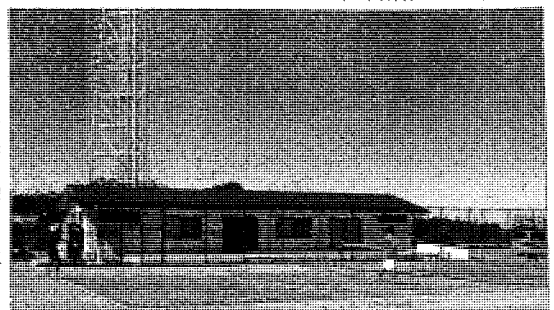
優秀選手は西岡(ツアー初V)、ダニエル(同)、穂積(二宮組(全仏復準V))ら。優秀指導者賞は大坂を教えるサーシャ・バインらが選ばれた。

年間表彰 全米制覇の大坂

「10復帰」錦織ら

日本テニス協会は11月30日、東京・明治記念館で年間表彰。最優秀選手に全米単優勝の大坂、優秀選手に「10」返り咲きの錦織らを選んだ。欠席した大坂は「光栄。多くの試合をし、人として成長できた」とビデオメッセージ。錦織は「全米4強入りのチリツチ戦が最高試合。復帰1年目にしては上出来」と述べ(6季目)チャンピオンからスタッフは変わらず。目標は4大大会制覇と抱負。

いいね南コート 新しいオムニ4面 通路滑る ご用心



南が丘コートで開いた「審判講習会」(10月8日・祝)

高木組がV

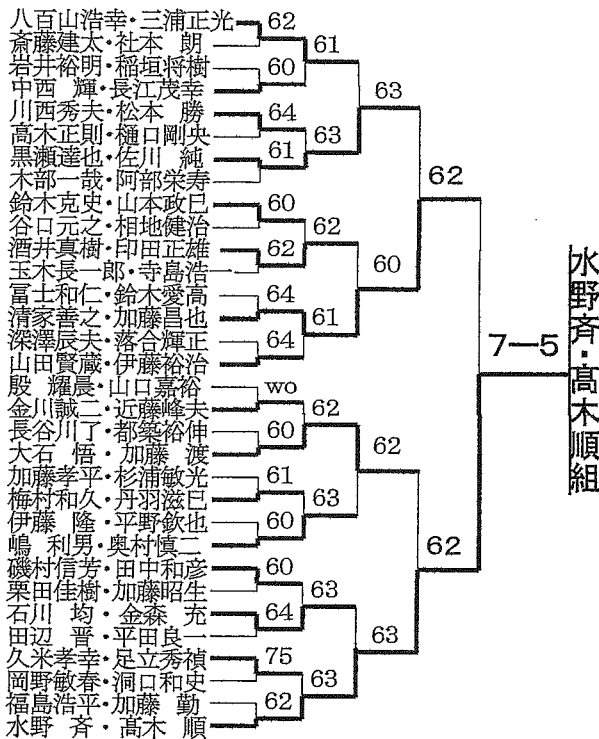
壮年・レディース大会は11月25日(日)市民公園で熱戦。男子45歳・女子40歳以上の複。壮年3組、レディース26組が参加。壮年は水野斉(ひとし)・高木順組が清家・加藤組に7-5で競り勝って3年ぶり2度目の優勝。レディースは宮城清美・川口綾組が長谷川・土井組を6-4で下して初V。

3年ぶり2度目 清家・加藤組に辛勝

壮年のうち20組はコートへ移動。決勝、3決、コンソレはAコートで。準決勝は黒瀬・佐川―清家・加藤と大石・加藤―水野・高木の対戦。清家組、水野組がともに6-2で勝ち上がって頂上決戦。

決勝は互いに好プレーの連続で差が開かず、5オールの大接戦。71歳・高木は相変わらず力強いプレー。水野は腰の据わった強いストローク。勝負どころから2ゲーム連取、2015年以来2度目の優勝を決めた。

《壮年の部 戦績》



壮年・レディース大会 成績

[壮年の部] 参加32組
優勝=水野 斉・高木 順
(M1・テニス協会)
準優勝=清家善之・加藤昌也
(NAS)
第3位=黒瀬達也・佐川 純
(NAS)
大石 悟・加藤 渡
(ロング・BEARS)

[レディースの部] 26組
優勝=宮城清美・川口 綾
(HNT)
準優勝=長谷川貴子・土井智子
(NAS)
第3位=浦野優子・森山由香
(フリー)
蜂谷有加里・西田里奈
(フリー)

レディース 宮城・川口組 初制覇



レディースを初制覇した宮城・川口組(中央)、準優勝の長谷川・土井組(左)、3連覇を遂げた3決は快勝した浦野・森山組(右)

コンソレは岡野・洞口 黒瀬・佐川組と大石・加藤組の3決は黒瀬組が6-3で制した。

コンソレは、初戦で久米足立組に5-7で競り負けた岡野・洞口組と、清家・加藤組に4-6で惜敗した富士・鈴木組の決勝。岡野組が6-4で勝って「裏街道」V。

強力！叔父・甥へア 本戦2度目の優勝の水野・高木組。水野は「テニス一家」

高木の配偶者・淳子の弟。愛用ラケット・ウィルソンの強張り67ポンドのガットが切れてしまい、叔父の50ポンドのパボラを借りてプレー。「わあ飛び過ぎる！」と苦勞しながらも使いこなし、安定した深いストロークと堅い守り。叔父・高木も「ねんりんピッチ」優勝の勢いそのまま、年齢不相応の力感あふれるプレー。「優勝したよ。ギリギリだったけど」と、甥との3年ぶりVに頬を緩ませた。

＜壮年・レディース 近年の優勝ペア＞

[年]	[壮年]	[レディース]
08	古賀昭一・加藤昌也	高木淳子・小笠原まり子
09	横山真和・稲垣将樹	高木淳子・吉村鮎子
10	古賀昭一・稲垣将樹	作石 節・松原由布子
11	岩間正人・金川誠二	高木淳子・大島美香
12	岩崎民男・三浦正光	河合利江・吉村鮎美
13	加藤昌也・水野 斉	作石 節・寺田ひとみ
14	加藤昌也・水野 斉	河合利江・森山由香
15	高木 順・水野 斉	浦野優子・森山由香
16	山口嘉裕・股 耀晨	浦野優子・森山由香
17	八百山浩幸・三浦正光	浦野優子・森山由香
18	水野 斉・高木 順	宮城清美・川口 綾

愛知3位

- 愛知代表の3ペア
- ① 泊 沙知・桑原諒子組
 - ② 笹川佳倫・岩田伸枝組
 - ③ 神谷美樹・大久保良乃組

第40回全国レディース決勝大会(11月7-10日・東京都昭島市) 昭和の恋は各都道府県予選上位3組の代表に記念杯3県Bチーム計50チーム150ペアが熱戦。

準決勝 大阪に無念1-2

3ペアの団体戦。5度目の優勝をめざす愛知は初戦の2回戦で強豪・兵庫Aに2-1で辛勝、愛媛には3-10で快勝して8強入り。準々決勝では京都を2-1で下して3年ぶりに4強進出。準決勝で大阪に惜しくも1-2で屈し3位決定戦回り。3決は福岡に2-1で競り勝った。決勝は埼玉が大阪を2-1で下して16年ぶり5度目の優勝。

水野・壮年

「ねんりんピック」愛知優勝に貢献した高木④・永野⑤組。中央は、カラオケ好きの岡本監督



ねんりんピック・富山

愛知代表3ペア

高木 順瀬戸・71歳
永野 博尾張旭・70歳
藤井 真里(大府)・61歳
深井 恵子(岡崎)・60歳
榊原 敬三(碧南)・62歳
榊原 敬三(碧南)・62歳
榊原 敬三(碧南)・62歳
榊原 敬三(碧南)・62歳
榊原 敬三(碧南)・62歳

60歳以上の全国「ねんりんピック」富山大会(11月3〜5日)で愛知が3度目優勝。高木・永野組は重圧の1番手で通算7勝1敗。Vへの原動力となった。

愛知3度目V

高木・永野組「先鋒」で貢献

県代表など72チーム

各都道府県・政令都市・地元6代表の計72チームが熱戦。18ブロック別の予選リーグの後、各順位別トーナメント。試合順①男子70歳超複②女子60歳超複③男子60歳超複の団体戦。全て4ゲーム先取・ノード。愛知は予選で青森に2-1、熊本、京都市に3-0で勝ち、3戦全勝で1位トーナメント進出。決勝Tは初戦を除き2勝打ち切り。愛知は初戦で、60男複に

1位T初戦 名古屋を逆転

切り札を持つ強敵・名古屋と。必勝を期した「先鋒」高木・永野組が敗れて大ピンチ。続く60女複が踏ん張って1勝1敗とし、60男複は勝ちへの過剰意識が、地力のある60男複が緊張で不調。監督の叱咤も効なし。逆に愛知の都築・榊原組は普段のプレーを貫き、値千金の白星で逆転勝利。初戦の「ヤマ」を突破し2回戦以降、榊原・深井組が2-0で快勝し決勝進出。「頂点あと1」。決勝は京都府と。高木・永野組と「先鋒」の榊原・深井組が連勝

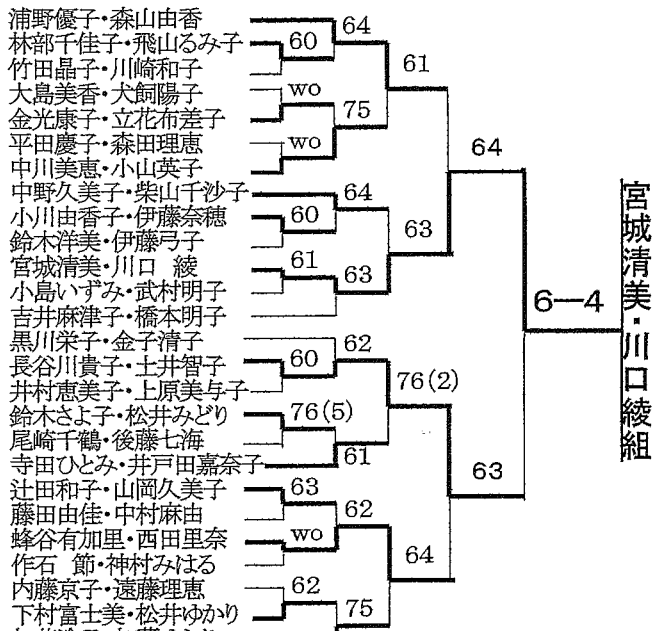
高木組7勝1敗 流れつくる

「大将」を残して優勝を決めた。高木・永野組は予選から通算7勝1敗、榊原・深井組7勝1敗、都築・榊原組5戦全勝と圧倒的。高木は鹿児島大会(08年)優勝以来2度目、永野は鹿児島、石川(10年・優勝)に続く3度目出場。ともに、「出れば優勝・Vの神」。◆高木の話「『壮行会』で、Vをめざす!と宣言。約束が守られて安堵。名古屋のペアに負けたのが悔しいです。おいしい地酒、堪能してきました」。◆永野の話「3度出場3度Vの幸せ。団体戦はチーム力。いい仲間恵まれています。1位T初戦で名古屋を逆転して、いける!と思いました」。



「壮年4強」——3年ぶり2度目優勝の水野・高木組(前右)、準優勝の清家・加藤組(前左)、3位の黒瀬・佐川組(後右)と、大石(不在)・加藤(後左端)組

《レディースの部 戦績》



【3決】浦野・森山6-1 蜂谷・西田

長谷川・土井組に競り勝つ

レディースは3連覇をめざした第1シードの浦野・森山組を準決勝で6-1で下した宮城・川口組と、動きのよい蜂谷・西田組を6-3で退けた長谷川・土井組の決勝。午後4時過ぎ迫る夕闇。後方から根気の中ロブ戦。卓球出身の小柄宮城が左右によく走り、膝痛を抱える前衛・川口の決定力を生かして6-1の辛勝。3決は浦野・森山組が快勝。コンプレックスは黒川・金子組が竹田・川崎組を6-2で下した。



準決勝で大阪に惜敗。3決で福岡に競り勝ち3位となった愛知チーム

3決エース惜敗から逆転

福岡との3決。準決勝まで全てストリート勝ちで快進撃を支えたエースの泊・桑原組は息の合った連携を見せたが、6-3、1-6からのマッチタイブレで惜敗。神谷・大久保組が挽回し1勝1敗。最後、笹川・岩田組が大接戦のタイブレを10-8で取って逆転で3位確保。愛知は仲間とともに喜びを分かち合った。愛知最強ペアの泊は「桑原さんとは小学生の頃から一緒にやっているの、全国の舞台でも信頼してプレーできた」と話し、桑原も「互いに出産、育児でテニスを離れていた時期もあったが、この大会を目標に練習を再開した。結果を残すことができて満足」と笑顔で語った。

高校学年別大会

第8回瀬戸地方高校学年別大会は10月27日(土)と11月3日(祝・土)、市民公園で熱戦。

男子は瀬戸西勢が活躍。1年単、2年単はともに同僚決戦。

加藤諒、村上真太郎がそれぞれ制覇。2年複も森藤澤組が大逆転で優勝。1年複は旭野、2年複に屈し、4部門V独占はならず。

女子2年単は瀬戸高の後藤海希が快勝、牧田真夕が3位。同複は加藤真奈・安藤希紗組(長久手)が優勝。1年単は高木千捺(旭野)、同複は藤本・泉家組(聖霊)がV。参加総数227人。



男子4部門・各4強の表彰式(11月3日・市民公園A)

男子・瀬戸西勢4冠独占逃す

女子2年単・後藤圧勝・牧田3位

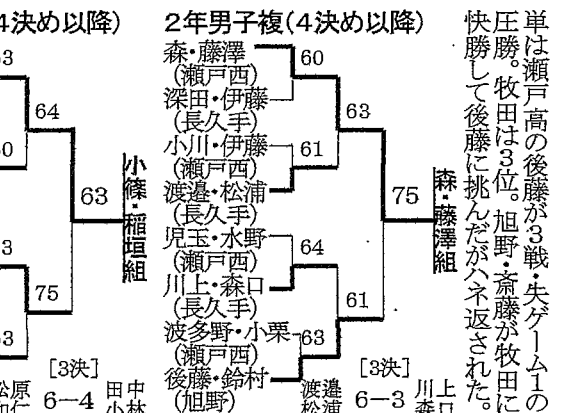
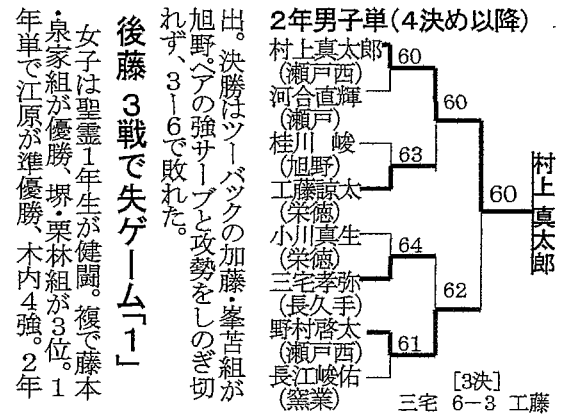
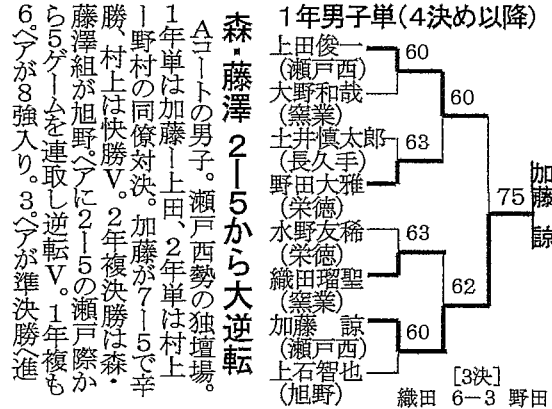
第8回瀬戸地方高校学年別大会 成績

<男子>

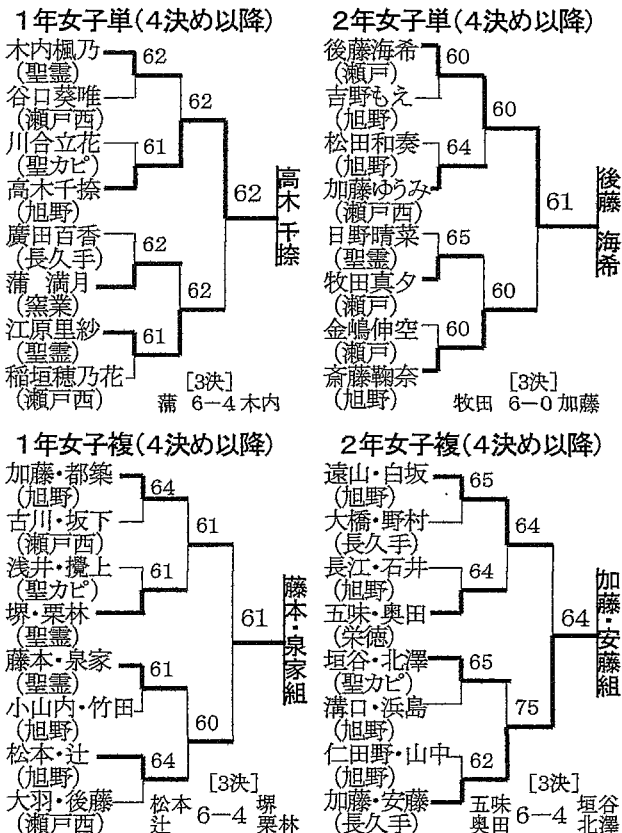
- [1年単]
優勝=加藤 諒(瀬戸西)
準優勝=上田 俊一(瀬戸西)
第3位=織田 瑠聖(築業)
野田 大雅(栄徳)
- [1年複]
優勝=小篠隼斗・稲垣伊織(旭野)
準優勝=加藤優樹・峯苦翔次(瀬戸西)
第3位=松原健太・和仁清晃(瀬戸西)
田中秀磨・小林洋平(瀬戸西)
- [2年単]
優勝=村上真太郎(瀬戸西)
準優勝=野村 啓太(瀬戸西)
第3位=三宅 孝弥(長久手)
工藤 諒太(栄徳)
- [2年複]
優勝=森 亘平・藤澤和牙(瀬戸西)
準優勝=後藤大和・鈴木尚也(旭野)
第3位=渡邊圭佑・松浦彪介(長久手)
川上芳輝・森口 響(長久手)

<女子>

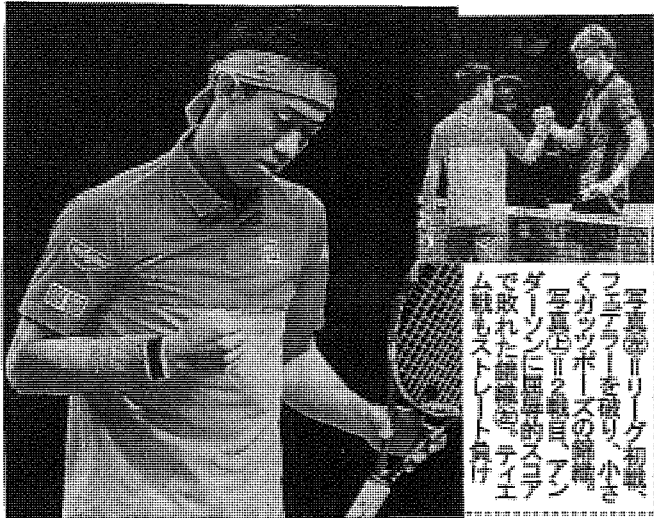
- [1年単]
優勝=高木 千捺(旭野)
準優勝=江原 里紗(聖霊)
第3位=蒲 満月(築業)
木内 楓乃(聖霊)
- [1年複]
優勝=藤本萌音・泉家彩乃(聖霊)
準優勝=加藤帆夏・都築加純(旭野)
第3位=松本惟咲・辻 愛莉(旭野)
堺 汐李・栗林希帆(聖霊)
- [2年単]
優勝=後藤 海希(瀬戸)
準優勝=斎藤 鞠奈(旭野)
第3位=牧田 真夕(瀬戸)
加藤ゆうみ(瀬戸西)
- [2年複]
優勝=加藤真奈・安藤希紗(長久手)
準優勝=遠山朋香・白坂野乃(旭野)
第3位=五味花蓮・奥田愛美(栄徳)
垣谷春花・北澤美子(聖カピタニオ)



女子4部門の表彰式(Aコートで)



錦織ファイナル 晴のち雷雨



写真：錦織圭の初戦、ライオンズを破り、小きくガッツポーズの錦織。写真：21歳の独逸人、アンダーソンに屈したスベレフ。アンダーソンは、ライオンズに敗れた。アンダーソンは、ライオンズに敗れた。アンダーソンは、ライオンズに敗れた。

「1次リーグ成績」(2組・2位まで決勝へ)

<グループB>	フ	ア	テ	錦
③フェデラー		○ ₂₀	○ ₂₀	● ₀₂
⑥アンダーソン	● ₀₂		○ ₂₀	○ ₂₀
⑧ティエム	● ₀₂	● ₀₂		○ ₂₀
⑨錦織	○ ₂₀	● ₀₂	● ₀₂	

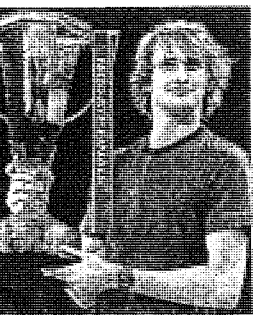
※年間4位のデルポトロが右膝故障のため欠場。9番手の錦織が代替出場。(丸囲み数字は世界ランク)

<グループA>

①ジョコビッチ	3勝0敗	決勝T進出
⑤ズベレフ	2勝1敗	決勝T進出
⑦チリッチ	1勝2敗	
⑩イスナー	0勝3敗	

フェデラー 撃破あと連敗 敗退

今季8強によるATPファイナル(11月18日まで・ロンドン)。錦織は1次リーグB組初戦でフェデラーを破ったが、アンダーソン、ティエムに敗れ1勝2敗で脱落。決勝はリーグA組2位のアレクサンダー・ズベレフ(独・21歳)が同組1位のジョコビッチ(31歳)を6-1、6-3で倒して初優勝。



初制覇したズベレフ

[決勝トーナメント] ジョコビッチに雪辱

ジョコビッチ (A1・セルビア・31歳)	20		
アンダーソン (B1・南ア・32歳)	62	2-0	
ズベレフ (A2・ドイツ・21歳)	62		64 63
フェデラー (B1・スイス・37歳)	20		75 76

圭、屈辱アンダーソン戦 立ち直れずティエム戦 錦織1次リーグの初戦は6連敗中のフェデラー。第1セットをタイブレーチに持ち込んで奪い、第2セットもミスの目立つフェデラーに6-3で取って約4年8か月ぶりの3勝目。タイブレーチが取れたのが大きかったとコメント。

2戦目は過去5勝3敗最近1勝1敗のアンダーソン。2001年のサーブが返せず、ラリーも打ち負けて1ゲームを連取され、第2セット0-5から1つ取っただけの「だるまさん」。「全ショットだめだった。今年最悪試合」と落胆。「1負けは10年ぶり。1セットサーブ確率45%は悪すぎた。決勝T進出がかかる第3戦は既に2敗のティエム。過去3勝1敗。錦織の「切れが戻らない。第1セットを1-6で失い、第2セッ

1次リーグA組

	ケ	大	ス	ベ
ケルバー		○ ₂₁	● ₀₂	● ₁₂
大坂	● ₁₂		● ₁₂	● ₀₁
ステイーブンス	○ ₂₀	○ ₂₁		○ ₂₁
ベルテンス	○ ₂₁	○ ₂₁	● ₁₂	

<1次リーグB組成績>

スピトリナ	3勝0敗	決勝T進出
プリスコバ	2勝1敗	決勝T進出
ウォズニアッキ	1勝2敗	
クビトバ	0勝3敗	

[決勝トーナメント]

ステイーブンス (A1・米・6位)	21		
プリスコバ (B2・チェコ・8位)	06	2-1	
	64		
	61		
ベルテンス (A2・オランダ・9位)	21		36 62 62
スピトリナ (B1・ウクライナ・7位)	75		67 64



ベルテンス戦で左脚の治療を受ける大坂

初戦から痛かった/クレージーな1年 ◆大坂の話「リーグの初戦から痛かった左足が動かなくなった。3戦目は(長期戦を避け)全球強打に行ったが、うまくいかなかった。全米後、連戦でケガが出てしまった。今年はクレージーな1年。新しい経験がたくさんできて、成長したと思う」

女子年間8強によるWTAファイナル(10月28日まで・シンガポール)初出場の世界4位・大坂 左もも痛：棄権

トモ4-6。悔しいリーグ敗退。フェデラーがアンダーソンを6-1、6-3で下し、ともに2勝1敗。A組は3勝・ジョコビッチと2勝1敗・ズベレフが4強入り。決勝はジョコビッチとズベレフの再戦。リーグは4-6、1-6で敗

大坂3敗で脱落

女子年間8強によるWTAファイナル(10月28日まで・シンガポール)初出場の世界4位・大坂 左もも痛：棄権

21歳は1次リーグでステイーブンス、ケルバーとともに1-2惜敗。ベルテンス(1位ハレフの代

れたズベレフが230万のサーブと我慢のラリーで6-1、6-3の快勝。今季4勝・ツアー10勝目。◆錦織の話「この1週間、いっぴりできなかった。終わり方は悪かったが、十分すぎる1年だった」(準V3度・39位から9位復帰)

カムバック賞はジョコビッチ

選手投票による今年のATP「カムバック賞」はジョコビッチ。候補には錦織、クレージー、ミルマン(ともに豪)も挙がっていた。ジョコビッチは右肘手術後に復帰。全英、全米制覇など活躍、世界1位を奪回。「ファイナルも6度目Vは逃したが準優勝。

替出場との3戦目は途中棄権。3敗でリーグ敗退。ランク6〜9位が4強の決勝トーナメント。B組1位のスピトリナがA組1位のステイーブンスに逆転勝ち。5戦全勝で初優勝。1500点と賞金2億6430万円を獲得。

大坂3敗とも先行できず

1次リーグ、大坂初戦は過去0勝1敗のステイーブンス。第1セットを5-7で先行されたが第2セットを6-4で取り返す。最終セット、大坂はミス連発。集中力・粘りを欠きダブルフォルトで幕1-6で失い、黒星スタート。

第2戦は過去1勝3敗のケルバー。第1セットを4-6で落とし、第2セットは7-1で奪い返した。最終セット3-1からバッククを許し、直後のブレークバックのチャンスを目撃的に逃して4-6で敗れ2連敗。1、2戦とも第1セットの競り合いを取れなかったのが痛かった。

3戦目はベルテンス。過去1勝0敗。第1セット、動きに精彩がなく、3-5からのサーブゲーム前に左脚の治療を受けたが、サーブに威力なく、第1セットを3-1で失ったところで棄権した。

「大坂の苦戦」(左)「大坂の苦戦」(右)「大坂の苦戦」(下)

【大坂の苦戦】

上海 ジョコビッチ V
 マスターズ上海決勝(10月7日)はジョコビッチ(第2シード)がチヨリッチ(第13シード)クロアチアを6-3、6-4で下して4度目V。マスターズ32勝目。ナダルの33勝に迫った。

中国OPはウオズニアツキ
 中国オープン女子単は、大坂を破って決勝進出したセバストワ(ラトビア)をウオズニアツキ(デンマーク)が下してV。

ウィーン エルステバンク 錦織準V

アンダーソンに惜敗 ツアー12勝目ならず

エルステバンクOP(10月末、ウィーン)で11位、第5シ

ドの錦織は決勝で8位アンダーソン(第2シード)南アに3-1、6-1で敗れた。ツアー12勝目を逃し今季3度目の準V。これで決勝は9連敗。錦織は初戦テニアフオー(米、45位・20歳)、2回戦チヤノフ(ロシア・19位・22歳)の若手を下し準々決勝で難敵・ティエム7位、第1シード・



決勝、失点を悔しがいる錦織
 ◆錦織の話＝『勝機は何度かあったが、なかなか運がこなかった。決勝9連敗は気にしていない』

オーストリアを6-1、3、6-1。準決勝も7-1位、ククシキン(カザフスタン)に6-1、4、6-1で快勝し決勝進出。決勝は第1セット第4ゲームで5度のゲームポイントを取り損ね、長身203センチからの弾丸サーブの相手を調子に乗せてしまった。第2セットはタイブレーを落として惜敗。

パリアンダーソンに雪辱・フェデラーに敗退 8強止まりで絶望 人事を尽くし

錦織世界11位・年間9位はツアー・ファイナル進出をかけたラストチャンス。マスターズ・パリ(V1000点)の第10シードで2回戦登場。初対戦の46位・左腕のチアリノ(仏)に7-5、6-4で競り勝って3回戦進出。ウィーン決勝で敗れたアンダーソンに6-1、4、6-1で雪辱して8強。準々決勝、過去2勝6敗のフェアラ(3位)37歳・スイス。ほぼ互角に戦ったが4-6、4-1で敗れ8強止まり。これで

「デ杯」大改革

デ杯は、1回戦から決勝まで4回行われてきたが、来季から11月一括開催となる。国際テニス連盟(ITF)総会で承認。楽天・三木谷社長が支援する投資会社が25年間総額30億(約3300億円)を拠出する。過密日程を理由に敬遠するトップ選手の出場を促すため3セットに短縮。賞金、ポイントも再考？

全英、最終セット 来季からタイブレー 全英もタイブレー導入。4大会、ウィンブルドンは来季から最終セットで1-2-1となり、場合7ポイント先取のタイブレーを採用する。2010年にイスナー(米)は31時間の最終セット70-68の11時間(南ア)と24-26の6時間36分を戦い、タイブレー導入を望む先頭に立っていた。男女単複、混合複に適用する。

ファイナル9番手が確定。自力での出場は途絶えた。 ジョコ倒しハチヤノフV 決勝は198センチハチヤノフがジョコビッチを7-5、6-1で倒して初優勝。ツアー3勝目。 ◆天命IIファイナル9番手 錦織は4位、デルポトロ故障欠場で代替出場決定(11月4日)。



女子単V・清水綾乃

大坂5位、錦織9位 11月第4週の世界ランクで錦織9位変わらず。西岡75位、ダニエル77位。1位はジョコビッチ。女子は大坂5位、1位、ヒレブ、2位、ケルバー、3位、ウオズニアツキも変わらず。

伊藤竜2度目、女子・清水は初 全日本選手権(11月4日まで・大阪市榎)男子単決勝は第1シード・伊藤竜馬(北日本物産)が第2シード・徳田廉大(リ)に6-3、6-10で快勝し5年ぶり2度目V。女子単は第1シードの20歳・清水綾乃(MASA)が第15シード・柳沢璃子(リクス・テアート)を6-0、7-6で下し初V。男子複は二本拓人(三菱電機)・今井慎太郎(イカイ)組が清水悠太(三菱電機)・羽沢慎治(慶大)組を6-2、7-16で下して優勝。女子複は内島萌夏(昭和の森J.T.S)・林恵里奈(福井県協会)組が寺見かれん(テニスユニバーズ・首藤みなみ)スポーツクリエイト)組に6-3、6-1で快勝し優勝。



藤井君輝く最年少新人王

近いぞ100勝

藤井聡太七段(16歳2か月)が第49期新人王を獲得。出口若武三段との決勝三番勝負第2局(10月)に勝ち連勝。森内俊之九段の17歳0か月を31年ぶりに更新する最年少。「26歳・六段以下戦」で、四段から三段跳びの藤井君は最後の出



場。2月朝日杯以来のV。対局をネットで見守った瀬戸銀座通り商店街では市民らが大喜びの写真。名人戦順位戦はC級1組で6連勝。B級2組昇格を着々と歩。棋聖戦1次予選は準決勝・村田頭弘六段、決勝・今泉健司四段に連勝し2次予選(10月31日)。叡王戦1回戦は斎藤慎太郎王座に惜敗したが、現在98勝。12月1日、解説者デビエーではまさかの大手ヨシボも。次の対局は18日。

STKニュース 瀬戸市テニス協会業務部が発行の会報。原則隔月。1975年(昭和50年)創刊。98年から定期刊行。第10号まで、梶田俊幸・元理事が制作。2000年、第1号から理事・近藤峰夫が編集と郵送。発行後、毎月ホームページに収録。

次号は「春季大会」後